

CAMPUS HEALTH

2017.3

54 (1)

第54回全国大学保健管理研究集会
(大阪大学) 報告書



Japan University Health Association

第54回全国大学保健管理研究集会

The 54th Annual Meeting of Japan University Health Association

～グローバルな健康価値創造をめざして～

報告書

会期 平成28年(2016年)10月5日(水)～10月6日(木)

会場 大阪国際会議場

主催 公益社団法人 全国大学保健管理協会
国立大学法人 大阪大学

後援 文部科学省

第54回

The 54th Annual Meeting of Japan University Health Association

全国大学保健管理研究集会

—グローバルな健康価値創造をめざして—

会期 2016年10/5水・6木

会場 大阪国際会議場
(〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51)

主催：公益社団法人 全国大学保健管理協会/国立大学法人 大阪大学

事務局：大阪大学保健センター 〒560-0043 豊中市待兼山町1番17号

運営事務局：株式会社日本旅行西日本MICE営業部 TEL:06-6342-0212 FAX:06-6342-0214 EMAIL:juha_2016@nta.co.jp

目 次

第54回全国大学保健管理研究集会 あいさつ

「グローバルな健康価値創造をめざして」…………… 4

第54回全国大学保健管理研究集会 運営委員会 西尾 章治郎、瀧原 圭子

I. プログラム

会場・日程表…………… 10

講演プログラム…………… 12

一般研究発表プログラム…………… 15

II. 開会式…………… 47

III. 特別講演

インターロイキン6発見30周年：夢は叶えるためにある 平野俊夫…………… 51

IV. 教育講演

1 長寿時代のエンドオブライフ・ケア 会田薫子…………… 55

2 学生を支えるネットワークづくり－学生相談と連携・協働の実際－ 齊藤憲司…………… 59

3 認知行動療法を活用したこころのスキルアップ・トレーニング 大野 裕…………… 62

4 スポーツにケガはつきものか？－事故防止の可能性を探る－ 内田 良…………… 63

V. シンポジウム

1 ストレスチェック制度実施の現状と課題～それぞれの立場から～

① ストレスチェック制度は“諸刃の剣”～課題多き本制度の活かし方～ 渡辺洋一郎…………… 69

② 心理社会的精神医学と企業における健康（go to Healthy Company） 奥山真司…………… 73

③ 大阪大学におけるストレスチェック制度への取り組みについて 足立浩祥…………… 77

2 障害者差別解消法―対応の現状と課題

① 障害者差別解消法と障害学生支援～経緯・現状・課題～ 竹田一則…………… 79

② 障害学生支援：広島大学の事例から 佐野（藤田）眞理子…………… 83

③ 大学に求められる障害のある学生への支援―京都大学の現状と課題 村田 淳…………… 85

④ 大阪大学における障害学生支援体制について 望月直人…………… 86

⑤ 「特別ニーズ」から「支援」へ：合理的配慮形成に於ける取組と課題 片山 愛…………… 90

VI. 一般研究発表

優秀演題表彰…………… 95

一般研究発表…………… 96

VII. 展示ブース紹介

賛助会員交流コーナー / 企業展示コーナー…………… 489

VIII. 閉会式…………… 493

IX. 名簿

第54回全国大学保健管理研究集会 運営委員会委員・幹事名簿…………… 497

第54回全国大学保健管理研究集会 参加者・研究発表者等名簿…………… 498

ごあいさつ

～グローバルな健康価値創造をめざして～

第54回全国大学保健管理研究集会は大阪大学が当番校となり開催いたしました。会期は2016年10月5日と6日の2日間、大阪国際会議場メインホールを主会場として、会員懇親会はリーガロイヤルホテルロイヤルホールにて行いました。大型台風の日本接近が危ぶまれる中での開催となりましたが、台風一過の晴天のもと815名の多くの方々にご参加いただきましたこと、まずはお礼申し上げます。

大阪大学が研究集会を担当させていただくのは、2004年の第42回以来12年ぶりとなりました。2004年はちょうど国立大学が法人化された時期でもあり、それまで学校保健安全法に基づいて学生および教職員の健康管理に携わっていた保健センターの立場が大きく変化しようとする時でもありました。さらにその後の12年間で大学を取り巻く環境は大きく変化し、現在、大学には「グローバル化」が要求されています。大学は多様性を受け入れるとともに、変化への柔軟性を発揮する必要性が求められています。そのため、大学における保健管理業務も「グローバル化」とともに、きわめて多彩なものになっています。大学の国際化による留学支援・留学生支援に伴い、感染症や新たなメンタルストレスへの対応が求められ、それに伴い大学保健センターの役割も多様化し柔軟性が求められるようになりました。さらに、障害者差別解消法やストレスチェックなどの新たな法律への対応など、保健センターではさまざまな新たな業務に直面しています。

これらの課題について、多方面からのアップデートな情報交換をしていただくため、本研究集会のテーマを「グローバルな健康価値創造をめざして」とさせていただき、平野俊夫 量子科学技術研究開発機構 理事長（前大阪大学総長）による特別講演、4つの教育講演、2つのシンポジウム、イブニングセミナー、そして4つのランチョンセミナーを企画いたしました。

シンポジウム1では「ストレスチェック制度実施の現状と課題」として、制度構築のプロセス、企業や大学での取り組みについてそれぞれの演者に議論を進めていただき、参加者の理解を深めて成果を挙げていただきました。また第二会場で開催されたシンポジウム2では「障害者差別解消法-対応の現状と課題」として、5名の演者に事例を交えながらそれぞれの立場からご講演いただくことも

に、司会者とシンポジストが模索しながら議論を進め、満席の会場が熱気に包まれ、参加者の期待も大きく大変有意義な企画になったと思っております。

さらにランチョンセミナー1「大学敷地内禁煙への取り組み」では、日本循環器学会より禁煙啓発キャラクター「すわん君」にも参加いただくとともに、2つの会員校における敷地内禁煙の取り組みの苦労話をご披露いただき、多くの会員校への示唆に富むセミナーとなりました。

一般演題発表は6つのカテゴリーに164演題もの沢山のご応募をいただき、ポスター会場では熱気にあふれ、時間を超えた活発な討論が繰り広げられました。今回、一般演題発表を第一日目午後に設定し、終了直後に優秀演題選定会議を開催し当日夜の懇親会会場で表彰式を執り行いました。表彰式では多くの懇親会参加者ととも賑やかに優秀演題受賞者9名の栄誉を称えることができました。

また、できるだけ多くのご参加の皆様と交流を深めていただくため、一般演題ポスター会場と同じフロアに交流コーナーを設置し、企業展示9社、賛助会員展示5社にも参加いただき、さまざまな情報提供をしていただきました。今回、初めて全国大学保健管理協会及び国立大学施設協議会のブースも交流コーナーに設置しました。大阪大学公式マスコットキャラクター「ワニ博士：マチカネワニ」も参加し、会場では多くの会員とのツーショットに忙しい2日間となりました。

最後になりましたが、開催にあたりご支援・ご協力をいただきました多くの皆様に心からお礼を申し上げ、公益社団法人 全国大学保健管理協会のますますの発展を祈念して報告書発刊のご挨拶とさせていただきます。

第54回全国大学保健管理研究集会 運営委員会

委員長 西尾 章治郎
副委員長 瀧原 圭子